

# 情熱の羅盤十盤

No. 13 (2024.04.08)



## 【新しい年度が始まった！無限の彼方へ、さあ行くぞ】

やたらと雨が多く寒さも強く感じた春休みでしたが、そのせいもあってか、満開の桜の中で2024年度がスタートしました。この1年間で、みんなにとって大きな成長と飛躍の年になることを期待しています。中核年次として、先輩年次として、そして受験生の一手手前年次として、謙虚に研鑽し、健闘な学校生活を作り上げていくことをお願いいたしますが、悔いの残らないようにね。

## 【22回生を担当する年次団の先生方を紹介します！】

### 吉崎 淳 (年次主任)

三田祥雲館高校の2年次となった22回生の皆さん、こんにちは。引き続き年次主任をさせていただきます、吉崎です。今年度は高校生活最大の行事があるだけでなく、学習面でも、そして生活面でも先輩としての生き方を示す年ですね。ますます忙しくなったり難しくなったりする高校生活になるでしょうが、そんなみんなのことを、新たなメンバーも加わった年次団全員でサポートしていきます。今年度もよろしくお願いたします。



### 樋口 敦子 (年次副主任)

22回生のみなさん、いよいよ2年次ですね！今年度も副主任、英語とESSS部を担当の樋口です。昨年度はみんなが授業を一生懸命聴いてくれてとても充実していました。年度末はめっちゃめちゃ楽しい素人名人会で締めくくることができ、最高でした！元氣・楽しさ・楽しさいっぱい22回生と今年も過ごせることに感謝し、一つひとつの授業や行事を大切に生活していきたいです。今年度もよろしくお願いたします。



### 松上 翔大 (1組担任)

Podcastを通勤時に聴くことにはハマっています。「ゆる言語学ラジオ」と「コチンラジオ」をヘビロテ中です。特に気に入っている点は、中の人たちが「楽しく学んでいる」ことです。新しい知識や違う見方を手に入れることって、めっちゃ面白いです。思い出させてくれる番組です。新しい科目が始まる2年次。知識欲や好奇心のおもむくままに教科書と向き合ってみたら、きっと違う世界が見えるはず。



### 中村 宗治 (2組担任)

<2-2 担任 中村宗治の22回生だけに教えちゃってのソウゾウのフロアール>  
教えた科目:英語 呼ばれた名前:しゅじ先生 好きな球団:広島カープ(2位)  
好きなゲーム:クロノトリガー 好きな漫画:スラムダンクとBLEACH 嫌いな食べ物:カブ  
好きな時間の過ごし方:(ネット)サーフィンをしながら、海を眺めること  
2組のみんなと楽しんでいること:文化祭&修学旅行&体育大会&ホキヤコン&授業 しゅじの意気込み:2組を丁寧に楽しく・A安心して・S成長できるクラスにします！



### 池田 朋子 (3組担任)

「今日から、祥雲館を知り尽くしていきましょう。そして、高校での生活を存分に楽しみたい。今日から1年経ちました。新しいこと、はじめましての多い春。はじめてに弱い私ですが、みなさんの生活を楽しく過ごせるよう、とにかくいろいろやってみようと思っています。みなさんも、祥雲館での初めての2年次、楽しんでいきましょう。」



### 竹中 秀明 (4組担任)

22回生の皆さんこんにちは。昨年度に引き続き学年を担当する竹中です。教科体数学、4組の担任をさせていただきます。2年次は部活動や行事で中心になる学年です。また、3年で進路決定するために学力をしっかりと身につけることも大切です。やることたくさんあって大変な反面、やりがいにもあふれています。この期間を存分に取り組めるよう努力していきますのでよろしくお願いたします。



### 谷口 祐真 (5組担任)

22回生のみなさん進級おめでとうございます！5組を担当することになりました谷口です！今年度も皆さんの数学の授業と、学年の進路部門を担当します。それに加え、修学旅行の担当もさせていただきます！もうすでに9月の修学旅行に向けて先生方一同で動き始めています！楽しい修学旅行になるように、4月から全員でルールと時間を守る集団へとさらに成長していきましょう！今年もよろしくお願いたします！



### 小田 祥平 (6組担任)

22回生のみなさん、いよいよ2年次が始まりましたね！後輩も増え、学校の中核ですね！これまで以上に忙しい日々を味わいながら、勉強も部活も行事もプライベートも充実させていきましょう！二兎どころか、あえて三兎も四兎も追いかけてください！今年度からは特に待った!? 化学の授業(文系は授業に行けないかも...質問に来てね!)が始まりましたね！わくわく。ところで...家では趣味ですつとやっていましたが、最近職員室でもコーヒーを淹れるようになりました。飲むより淹れることのほうが、楽しみが大きくなりました。みんなも自分の好きなことを大切に過ごしていきましょう！今年度もどうぞよろしくお願いたします！



### 細見 俊輔 (年次付・新メンバー)

三田祥雲館高校22回生の皆さん、初めまして！今年度英語と、男子テニス部の担当をさせていただきます。俊輔です。野球を観ること、音楽を聴くこと(ミスタル、BUM P)が特に好きです！基本的にインディーズですが、最近林みみの日に頑張つて外に出て美味しいものや楽しいことを探しに行こうとしています。本校が初めての学校なので、(私が)慣れないことも多いと思います。皆さんとお互いに勉強しながら、一緒にメリハリのある学校生活を送っていただければと思います。よろしくお願いたします！

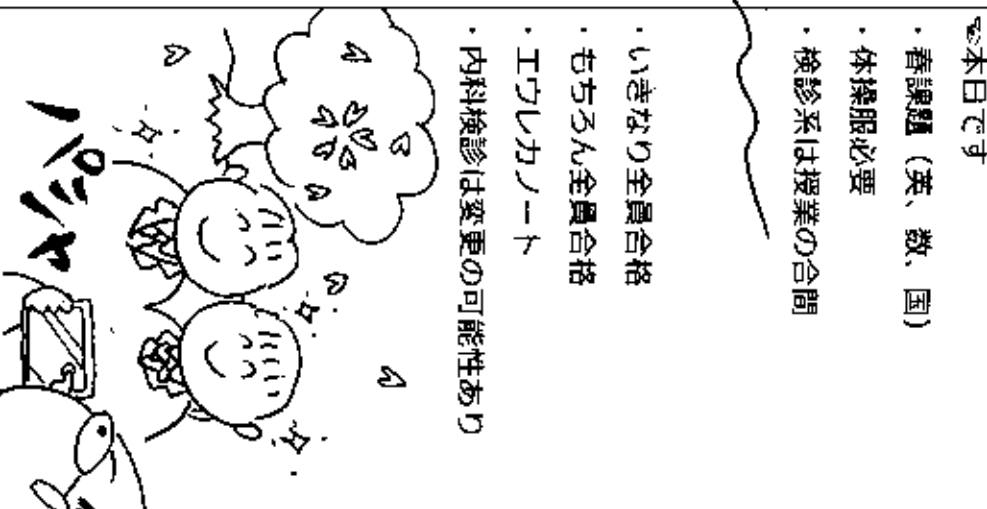


細見先生については、また年次集会で改めてご紹介しますね♪

というわけで、新しいメンバーを加えてさらにパワーアップした私たち9人の年次団で、22回生を支援していきます。とくに歩んでいきます。1年間、よろしくお願いたします！

【4月以降の予定について(※一部は追加予定あり、詳細はご確認ください、番号と見比べてください)】

日付	予定内容	しめきり、備考など
4月1日		
8日(月)	大清掃、着任式、前期始業式	
9日(火)	①～④授業、身体測定(PM)	●本日です ●春課題(英、数、国) ●体操必要 ●検診系は授業の合間
10日(水)	①～④授業、身体測定(PM)	
11日(木)	X線、心電図(AM)	
12日(金)	離任式(PM)	
15日(月)	通常授業	
16日(火)	国語小テストスタート	・いきなり全員合格
17日(水)	英語小テストスタート	・もちろん全員合格
19日(金)	探究書休み課題提出締切日	・エウレカノート
25日(木)	眼科検診、内科検診	・内科検診は変更の可能性あり
29日(月)	祝日(昭和の日)	
1日(水)	全校集会、避難防災訓練	
3日(金)	祝日(憲法記念日)	
6日(月)	祝日(こどもの日)、前期中間考査2週間前	
20日(月)	?	
23日(木)	前期中間考査	



くどいようですが、毎日新しい連絡が追加されたり、変更が出たりします。担任の先生の連絡やGoogle classroomの連絡を聞き逃さない/見逃さないようにしてください。

年次団リレーコラム「あの頃ほくら」最終回

今、高校生である皆さんと接している先生方も、かつては高校生だった…。その頃を振り返りながらあれこれと語っていきリレーコラム。最終回となる今回は、年次副主任の樋口先生です。

入学式の日、高校が嫌いだになった。

勉強がゆで、文化祭など楽しい行事が一切ないことを知ったからだ。その他にもジュースの自販機がない(あるのは牛乳だけ)、通学バスが無秩序すぎる(並ばないやつがいる)、先生が美人ばかりに見えた(ごめんなさい。偏見ですな)などなどの理由から、ますます高校が好きになれなかった。授業も静かすぎて落ち着かなかった(中学校の授業は動物園状態)そんな自分を構わないとも思った。



高校一発目の考査、数学で80点を取ってしまい、あともう高校生活終わっちゃったと思った。それでも、自分のアライドのために次の考査に向けて頑張った。毎晩三角比と格闘した結果、試験の前夜に覚醒し、80点を取った時の喜びは忘れられない。その後「努力は報われる」と信じ、高校は勉強するところだと割り切って頑張ることにした。

当時の高校生人口は多く、48~50人学級が10クラスあった。よって、先生たちはなかなか生徒の名前を覚えられなかったようだ。「せっかくだらないうちに学校に来てくれるのに、何か存在すら認められていない感じ」と思った。しかし、自分は地元の有名中学校(校内暴力で)出身というところで、最初は目を付けられなかった。よく注意されたが(特に体育の授業)、その分先生と会話することが多くなり、徐々に打ち解けて、幸か不幸かほぼ3年間体育委員を任せられた(当時の体育の先生はのちに職場を共にすることとなり、さきにお世話になった)。体育委員として培われた柔軟性は、その後の職場体験で大変役に立った。

部活動は中学に引き続きバレーボール部に入部したが、顧問の先生ともめた結果、部員が減って5人以下になり、高2でみんなが退部した(このことは今でも後悔していて、夢にも出てくる)。この後猛烈に勉強に打ち込み、成績はうなぎのぼりを前途洋々に思えた。…が、高3になってからはおな一杯状態で、受験勉強をしていると見せかけ、読書にふけった。太宰治や手塚治虫などにハマり、成績は急下落。志望大学も変更した挙句、高2までの貯金だけが何とか大学に合格できた。

「部活をやめて勉強に集中する」なんて、よほどの覚悟がない限り無理だと思う。苦勞して時間をやりくりし、両立に向けて努力する方が絶対に成績も伸びるし、深く受験勉強に向かっているのではないだろうか。

こんな具合に、まったくお手本になりえない高校生活だったが、高2の頃に自分の進路の方向性を決めることができたことは大きな収穫だった。幼い頃からずっと絵を描くことが好きで、絵を描く仕事に就きたいと考えるようになった。実際のところ「本当にこれがいいのかわからない」と、もやもやしていた。このまま自分一人考えたいと、母が明かないので、美術の先生に自分の描いた作品を見てもいいか、芸術関係に向いているかどうか尋ねてみることにした。



種やかで怒ったところを一度も見えなかった先生だったが、「絵が好きなら、なぜ美術部に入らなかったのですか」「美術教師を目指すとしても、採用人数は非常に少ない。何年間も採用試験を受け続ける覚悟がありますか」「この作品を仕上げたまですっぴんを何枚描きましたか」などなど、激しくつっこまれ、自分の甘さを思い知った。案外あっさり諦めることができたのは、その先生のおかげである。

そうして、いろんな人とたくさん笑ったりしゃべったりする方が自分にとって楽しいことに気づき、中学時の先生に薦められた教職への道を真剣に考えることにした。当時英語が好きだったので、英文科に進学することにした。

皆さんにはいろんな可能性があって、選択肢が多く本当に迷っちゃいますよね。そんな時にいろいろ経験の中で下した決断や、周囲の人からのアドバイスがどれも参考になります。万一、回り道になっても、それもまた自分の魅力を作り出す良い経験です。失敗も楽しんで自分のアラ探しを志向さえあれば、いくつでもやり直せます。まずはこの1年、悔いの残らぬように楽しんでみましょう。

(年次団リレーコラム「あの頃ほくら」 完)